

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-31		運営事業(下水道特会)						
	□支援部門								
主管課	道水路管理課	関連課	都市整備総務課						
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	生活環境や住民ニーズの多様化に伴う迅速かつ的確な対応を目指す								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人					
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
運営資源 状 況	事業の対象者数								
	決算値(千円)	822	451	440					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	822	451	440					
	人員配置数	0.4	0.4	0.4					
	人件費(千円)	3,487	3,514	3,640					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費(千円)	4,309	3,965	4,080					
	市民1人当 りの経費(円)	24	22	23					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を達成後退		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
運営事業	821千円	①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	事務事業の進行管理及び連絡調整を行い、円滑な執行を行う。													
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	特になし
課題解決のための取組	
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 当面は現状を維持しながら、事業の進展に応じて必要な見直しを行う。	※□事業完了
	②妥当性 ○	↓ B			課長等名
	③有効性 ○				道水路管理課担当課長
	④公平性 ○				木村 浩之

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
運営事業	主な個別事業	530	下水道賠償補償保険料	350	380	■適切 □見直し余地あり
		530	下水道責任賠償金	100	346	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり